

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を  
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

## 二学期、終業式で話したことです

今日で長かった二学期も終わりですね。

二学期には体育大会や文化発表会、二年生は修学旅行、一年生は職場体験学習など多くの行事がありました。一つひとつの行事に全力を注ぎ、成功させようとするみなさんの姿を見て、私もたくさんのエネルギーをもらいました。どんなことにも本気で取り組む姿はとても輝いていて素晴らしいものです。そんなみなさん一人ひとりが枝光台中学校の鏡といえるでしょう。

二学期の終わりにあたり、今学期印象に残った言葉を紹介します。それは先日の寺田智輝さんの講演の中で言われた言葉ですが「全ての過去は輝きが変わる」という言葉です。自分の性について悩み、生きづらさを感じる中で陰湿ないじめにあったり、自分の気持ちを偽ったりした寺田さんですが、そうしたつらい経験も今となっては自分にとってプラスになっていると言われていました。

講演後、寺田さんと話す中で次のことを言われました。それは、「人は、壁にぶち当たると周囲のせいにしたくなる。しかし、冷静に考えると周囲のせいにしてている間は人を恨んでばかりで、自分は成長しない。その壁を乗り越えるのはその人の努力が大切である。」ということです。寺田さんはそれが人との出会いであり、その方にかけていただいた言葉を実行に移した自身の行動だったと言われていました。「悩むことは悪いことではない、一度立ち止まって周囲を見てほしい」これも寺田さんの言葉でした。思春期の君たちは悩みも多いと思います。悩んだとき、周りにいる人に話を聞いてもらうことも次へのステップにつながると思います。

さて、これから冬休みに入ります。二週間という短い休みになりますが、どんな風に過ごしますか？お正月という大きなイベントがありますが、一方でみなさんには「学習する時間」として有意義に過ごしてほしいと思います。3年生のみなさんは受験という大きな目標に向かって最後の努力をする期間です。1・2年生もまた、今までの復習をする期間でもあります。しかし、ただ漠然とやるのではなく、具体的な目標を立ててみてください。例えば、「苦手な〇〇の部分を復習しよう」「英単語を〇〇個覚えよう」「一日〇〇問の問題を解こう」などです。冬休みは、約二週間という短い期間ですので、あれもやろうこれもやろうと大きすぎる目標を立てるのではなく、できる範囲での目標を立ててやってみましょう。

最後に、今年は交通事故がたいへん増えています。交通安全には十分に気を付けて過ごしてください。自分の命は自分で守ることも忘れずに行動してください。

そして3学期にはまた元気な姿で会えることを楽しみにしています。

